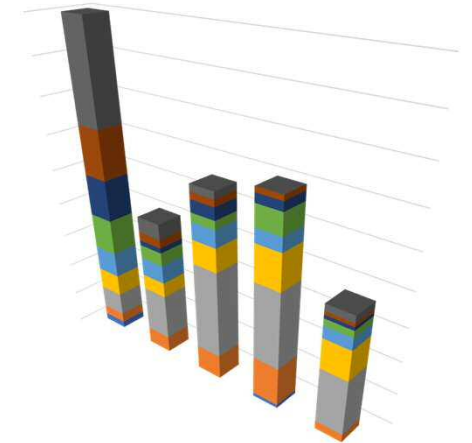


札幌市の感染状況・医療提供体制の週間分析 概況

(2021年4月14日分)

※2021年4月5日～4月11日の1週間のデータを用いた分析



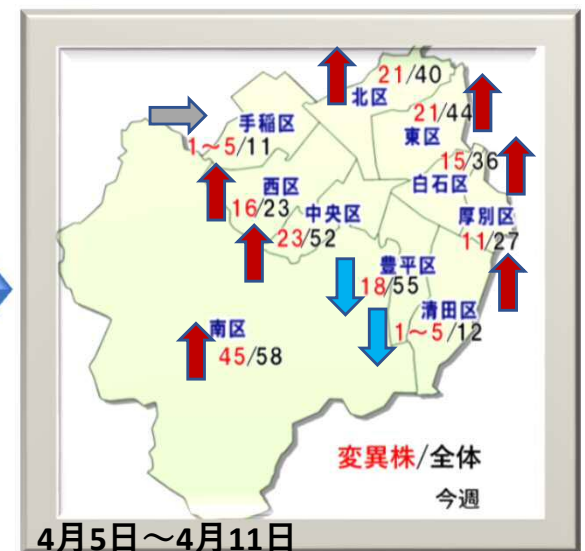
※本書及び掲載されているデータの無断転載及び著者本人以外からの無断提供を禁じます。

概況

感染状況の分析

検査・医療提供体制の分析

- 新規陽性者数が増加傾向です。リンク不明の患者数も増加し、**最大限の警戒が必要な状況**です。
 - 現在の所、**変異株は全区への広がり**となっています。また、**20代での変異株患者が増加**しています。
 - 南区は減少に傾いていましたが、下がり止まっていて、依然として高い値です。**3月中旬から下旬の変異株が消えずに地域の集会や会食・家族間感染で広がっている影響**と考えられます。
 - 新年度で人の動きが活発化しています。それに伴いリスクも増加しますので、リスク低減する行動をとってください（マスク・手指消毒）。
 - 風邪症状（咳・鼻汁・咽頭痛）はもちろんのこと、**倦怠感・関節痛/筋肉痛・食欲不振が症状の特徴**としても見えています。積極的な受診・検査をよろしくお願いいたします。
 - 症状が出ていても働いている陽性患者が目につきます**（倦怠感・関節痛/筋肉痛・食欲不振のみなど軽微な症状が数日先行し発熱している事例）。休みやすい、相談しやすい職場環境を作りましょう。マスク・手指衛生の徹底に加えて職員の体調相互チェックをし、検査につなげましょう。
-
- 陽性率は増加傾向で、札幌市が目標としている**5%未満を越えています**。積極的な検査にご協力をお願いいたします。
 - 第3波よりも**新規陽性者数が少ない割に、中等症や重症の患者数が多く、医療機関への負荷がかかっています**。変異株の病原性の高さの影響が出ていると考えます。
 - 重症化から入院期間が長期になり、**医療機関のひっ迫が第3波に比較して起こりやすい**といえます。流行を抑えることがこれまで以上に重要な状況です。



概況①

感染状況の分析

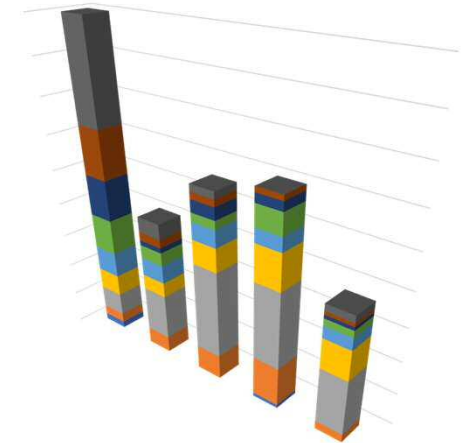
区分	モニタリング項目	前回の数値 (4月4日時点)	現在の数値 (4月11日時点)	前回との比較	(参考) 過去最大値	項目ごとの分析
感染状況	①新規陽性者数	40.7人	53.7人	 31.9%	161.0人 (11/22)	<p>コメント 感染の拡大、医療機関でのクラスターの発生に警戒が必要です</p> <p>新規陽性者数が増加傾向です（実効再生産数は1前後ですが、4/2データになります）。リンク不明の患者数も増加し、最大限の警戒が必要な状況です。現在の所、変異株は全区への広がりとなっています。また、20代での変異株患者が増加しています。新年度で人の動きが活発化し、それに伴いリスクも増加しますので、リスク低減する行動をとってください（マスク・手指消毒）。</p> <p>年度初めによる歓迎会が増える時期です。感染性が高い英国変異株の流行が、この波の大きさに影響を与えます。風邪症状はもちろんのこと、倦怠感・関節痛/筋肉痛・食欲不振が症状の特徴として見えています。積極的な受診・検査をよろしくお願いいたします。</p>
	②実効再生産数 ※発症日ベース	1.00 (3/26)	0.96 (4/2)	 -4.0%	2.32 (3/28)	
	③新規陽性者における接触歴等の不明者数（リンクなし）	14.6件	22.0件	 50.7%	89.4件 (11/22)	
	④発症日から陽性確定日までの平均日数（リンクなし）	3.9日	3.9日	 0.0%	20.0日 (4/28)	
	⑤相談件数	558件	638件	 14.3%	-	
	(内：症状あり)	380件	417件	 9.7%	-	
	※①、③~⑤は直近7日間平均で算出。					

区分	モニタリング項目	前回の数値 (4月4日時点)	現在の数値 (4月11日時点)	前回との 比較	(参考) 過去最大値	項目ごとの分析
検査体制	①検査数	1057.9件	1062.7件	→ 0.5%	1645.3件 (11/29)	コメント 積極的な受診・検査をお願いします。
	②検査の陽性率	4.6%	5.9%	↗ 28.9%	24.9% (4/19)	陽性率は増加傾向で、札幌市が目標としている 5%未満を越えています。積極的な検査にご協力お願いいたします。
医療提供体制	③入院患者数	219人	219人	→ 0.0%	273人 (11/29)	コメント 第3波に比べて数多くの重症患者・中等症患者が持続的に出ています。医療機関の負荷が大きくなっています。
	(内：重症数)	18人	20人	↗ 11.1%	27人 (5/5)	入院医療体制はフェーズ3に入っていますが、変異株患者の増加とその重症化傾向による入院に伴う病床の大きな負荷を認めています。特に変異株患者での非高齢成人での中等症・重症が増加しています。変異株では、中等症以上になる率が高い傾向があると考えます（通常株の3倍）。
	(内：中等症数)	69人	83人	↗ 20.3%	110人 (11/29)	
	④宿泊療養者数	187人	207人	↗ 10.7%	302人 (11/15)	入院期間が長期になり、医療機関のひっ迫が第3波に比較して起こりやすいといえます。

※①、②は直近7日間平均で算出。

札幌市の感染状況・医療提供体制の週間分析 概況（変異株） (2021年4月14日分)

※2021年4月5日～4月11日の1週間のデータを用いた分析

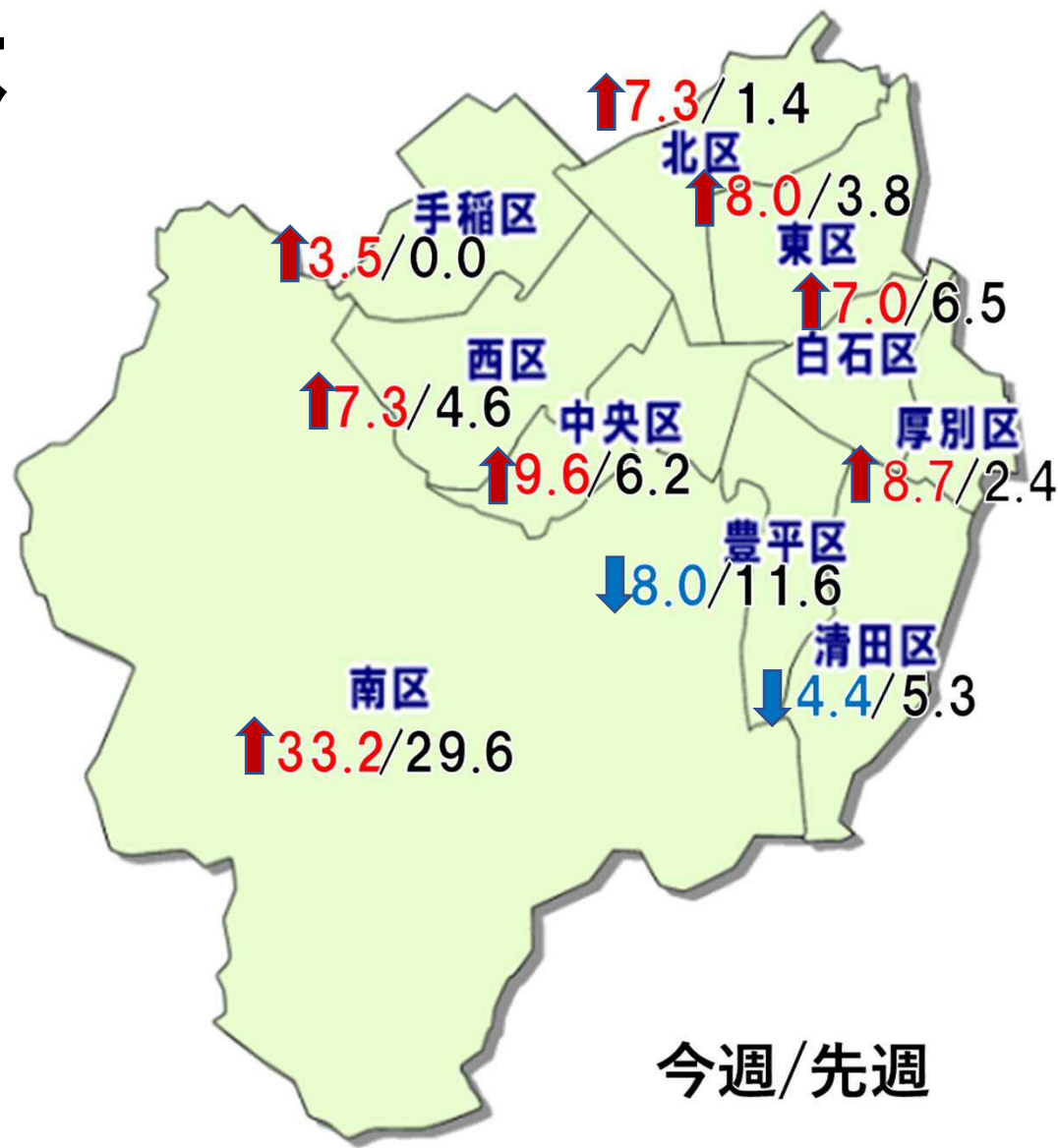


※本書及び掲載されているデータの無断転載及び著者本人以外からの無断提供を禁じます。

札幌市全体

↑9.2/6.5

(先週比41.5%↑)



今週/先週

札幌市の区別人口平均値は約20万人です (2021年3月現在)

スクリーニング検査中に占める

変異株陽性率

64.0%

(先週から+12.3ポイント↑)

先週値51.7%

札幌市変異株流行の事例と対策

(2021年4月14日分)

□ 仕事や学校以外でのサークル活動と『その後の飲み会+カラオケ』を中心とした感染拡大事例

→対策：活動後の飲み会やカラオケは少人数で、マスクをつけて

□ 症状が出ていても働いている陽性患者が相変わらず目に付きます（倦怠感・関節痛/筋肉痛・食欲不振のみなど軽微な症状が数日先行して発熱している事例）

→対策：職員の体調相互チェック+マスク・手指衛生の徹底→検査へ（★）

□ 会社の休憩時間での感染、車中でのみんなでの昼食での感染事例

→対策：車中は3密で、そこでの飲食は危険です。換気、会話の際はマスク着用、携帯型アルコールを持参して頻回の手指衛生を。

□ 飲食店以外でも接客を主とする店員からの感染事例

→対策：お客さんに連絡がつく体制を作りましょう（顧客名簿の作成を）

□ コンタクトスポーツでの感染事例

→対策：コンタクトスポーツを行う場合は、参加者の体調チェックの徹底を。自己申告ではなく相互チェックに。症状あれば休みとし、積極的に検査へ（★）

『あなたが検査をすることは
人の命を救うことになります』

（★）：かかりつけ医または#7119へ

札幌市変異株流行状況

“今週のポイント”

(2021年4月14日分)

- ① 南区は減少傾向ですが、高い値が続き、**全区での広がりとなっています**。また、20代での変異株が増加しています。風邪症状（咳・鼻水・喉いた・熱）に加えて倦怠感・関節痛/筋肉痛・食欲不振での早期受診と検査を。
- ② 症状が出ていても働いている陽性患者が目につきます。休みやすい、相談しやすい職場環境を作りましょう。
- ③ 新年度で人の動きが活発化しています。リスクを低減する行動をとってください（マスク・手指消毒）。

**事例や流行区の状況を踏まえた
地域・職場での声掛けで変異株流行を抑えましょう**

職員の健康管理も重要な感染対策です

新年度はいろいろと
休みにくい時期！



積極的な受診・検査をお願いします。